

第 24 回岩手県障がい者技能競技大会

写真撮影競技 事前公開課題

1. 競技課題

作品テーマ 「アビリンピックの魅力を伝えたい」

「チャレンジいわてアビリンピック（岩手県障がい者技能競技大会）」をパンフレットやホームページ上で紹介することを想定し、デジタルカメラ等を用いて、当大会を知らない障がい者の方々が「参加してみたい！」と思うような魅力的な記録・広報写真を撮影する。

これにより、写真撮影における基本的な技術や総合的な構成力を競う。

＊撮影可能箇所は、競技前説明の際に提示する。

撮影内容（参考）

- ・ 室内競技会場情景
- ・ 室内各種競技の状況
- ・ 競技参加選手のスナップ（指定競技のみ、撮影不可の競技者あり）
- ・ 作品の仕様
 - ① 縦・横比率 3：4 とする
 - ② 印刷サイズは A4 とする
 - ③ 色の指定は無い（カラーまたモノクロでも可）

評価項目

- ・ 課題内容を的確に伝えているか
- ・ 構成、構図は適切か
- ・ カメラブレは無いか
- ・ ピントは合っているか
- ・ シャッターチャンスは適切か
- ・ 被写体へのアプローチは適切か
- ・ カメラの設定（ホワイトバランス、シャッタースピード等）スキルが適切か
- ※ PC 等による編集は行わない。（評価対象外）

2. 競技時間

概ね 170 分間

（競技説明：20 分、機器調整等 30 分、撮影：80 分、画像選定：40 分）

3. 作品提出方法

競技者は、撮影した画像をパソコンに取り込み、プリントする画像を 2 点選定する。

選定した画像を A4 サイズでプリントし、提出する。

4. 競技者が持参するもの

品名	規格	備考
カメラ等	画像をデジタル保存できるもの	デジタルカメラ、カメラ機能付きスマートフォン、カメラ機能付きタブレット端末等 (A4 サイズに印刷するため 900 万画素以上の機材が望ましい)
ズームレンズ		持ち込み可
記録媒体 (USB メモリー、SD カード等)	自分の撮影機材に合う記録メモリーで 30 枚以上保存可能なもの	内蔵メモリー可

(注 1) 障害により、カメラ等の保持用具を使用する必要がある場合は、事前に主催者に問い合わせてください。

5. 会場に準備されているもの

品名	規格
パソコン	OS:Windows 11 ※競技者によるパソコン持ち込みは不可 (編集ソフトでの編集不可)
プリンター	インクジェットプリンター
印刷用紙	インクジェット用写真用紙
接続用ケーブル	・SD カードリーダー ・データ転送ケーブル (Type-A to Lightning、Type-A to Micro-B、Type-A to Type-C)

6. 準備

- 撮影モードは何にするかあらかじめ決めておく。
P (プログラムオート) A, Av モード (絞り優先オート) M (マニュアル) のいずれかを使いこなせるようにしておく。フルオートは暗いところでストロボが自動発光するので要注意。
- 室内でストロボ発光禁止、三脚使用不可なので ISO 感度を高めにする。
自分のカメラで手ブレがしないシャッタースピードを覚えておく。(1/30 以下になると手ブレがしやすくなる)
- 露出の+ (プラス) - (マイナス) 補正機能が使えるようにしておくとう露出補正がしやすい。

- ・ カメラによって操作の仕方が違うので自分のカメラの使い方を覚えておく。
- ・ 撮影会場は蛍光灯照明のところと蛍光灯照明プラス大きな窓から光が入ってくるところがあるのでホワイトバランスはオートにしておいた方が無難。

7. 注意事項

- (1) 競技者は、他の競技・イベントの進行を妨げないこと、また、他人（特に他競技者や担当者）の迷惑にならないよう特別の配慮を心がけること。
- (2) 競技撮影時に、撮影対象の競技者と適切な距離を保つため、望遠（ズームレンズ）の持ち込みを可とする。
- (3) カメラ等の撮影機材、及び記憶媒体は各競技者持ち込みとし、大会当日に競技委員から認定を受けたものを使用する。
- (4) 撮影・設定は競技者本人だけで行い、他者（付添者・介助者等）の意見を聞くことは禁止する。
- (5) 撮影に当たっては、他の競技への影響や被写体への配慮を行う必要があるため、ストロボ発光は禁止する。
- (6) 撮影した画像の内、作品として提出する 1 枚だけをパソコンに入力し、プリント出力する。
- (7) パソコンへの作品（画像）取り込みと印刷は、競技担当補佐員が行う。
- (8) プリントは、A4 ペーパーに 1 枚の写真を出力する。
- (9) プリント作成において、画像の編集（トリミング、レタッチ等）は行わない。
- (10) 撮影機材等の機能のみ使用できる。
- (11) 作品の裏面にゼッケン番号を記入する。
- (12) 提出した作品は返却しない。
- (13) 提出した作品の著作権は作者にあるが、写真（画像）の使用権は主催者に帰属し、今後の障害者技能競技大会の啓発活動などに供されるものとする。
- (14) 提出した作品、パソコンに入力された各参加者の写真（画像）は USB に記録し主催者が保存する。
- (15) USB に記録された写真（画像）の著作権は、作者にあるが写真（画像）の使用権は主催者に帰属する。
- (16) 肖像権上、カメラ等に記録された写真（画像）は全て削除すること。
- (17) 競技者は競技開始前および講評の際に、競技審査委員に対し、技術に関する質問や助言を求めることができる。